



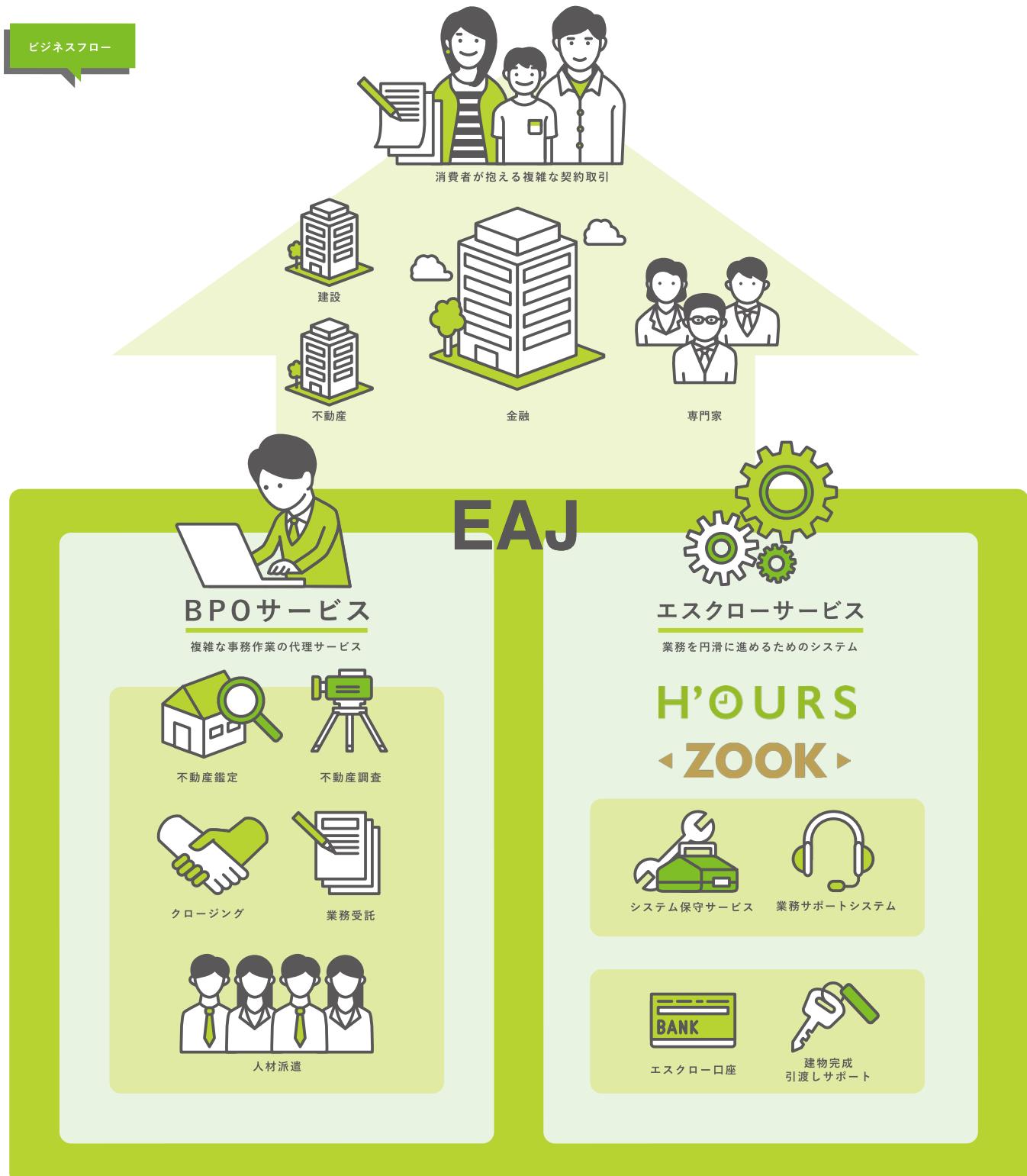
100人に聞いたら、きっと
100人が知らないと答える
東証一部上場企業。

不動産×金融ビジネスに、新しいサービスを。
Escrow Agent Japan, Inc



この国の不動産×金融ビジネスを大きく変える、日本初のサービスで、上場。

2007年創業。複雑で手間のかかる不動産取引に新しいサービスを構築すべく、私たちエスクロー・エージェント・ジャパン（EAJ）は誕生しました。10年目の2016年には、東証一部に上場。国境を越えた不動産取引の一般化、フィナンシャルテクノロジー（フィンテック）の進化など、時代の追い風を受けて更なる成長が期待されています。金融機関、司法書士、土地家屋調査士、不動産鑑定士、弁護士といったスペシャリストたちには名が知られていても、一般的にはまだまだ無名な会社。発展途上な私たちの大きな可能性をぜひ知ってください。



EAJが考えるエスクロー

複雑で高度な不動産取引。それを、私たちが。

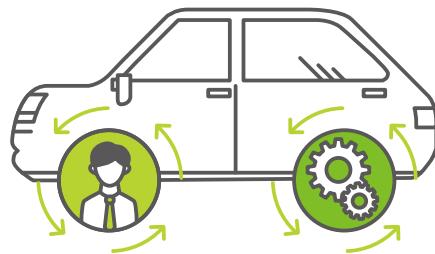


不動産取引には通常様々な専門業務が発生します。不動産事業者、不動産鑑定士、土地家屋調査士、司法書士といったそれぞれの専門家と金融機関の間で、消費者は非常に煩雑な手続きを強いられていました。私たちは、独自のネットワークを構築し、分断されていた手続きを集約。BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)というカタチで一手に引き受けているのです。顧客となるのは大手都市銀行からネット銀行まで30を超える金融機関に上り、まだまだ拡大をつづけています。

EAJの仕組み

人とシステムの両輪で、不動産取引をサポート。

エスクローサービスとは、システムアプリやクラウドサービスを活用した新しい決済サービス。専門家ネットワークをWEB上で一元管理し、不動産取引関係者の業務を一貫して支援できるワンパッケージサービスを提供しています。近年では、不動産取引の非対面決済サービス【H'OURS(アワーズ)】や、相続手続きが電話・メール・郵送など簡単なやり取りで完了できる【ZOOK(ゾック)】など、新サービスを続々リリース。今後も新たなスキーム構築、仕組み作りに挑み、不動産取引の新常識を切り拓いていきます。



仕事内容

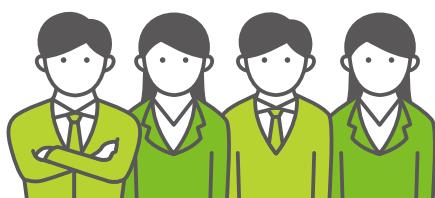
一流のプロに囲まれて、一流になっていく。

住宅ローンなどの不動産担保ローンに必要な事務業務を、ときにはクライアントである金融機関の内部に入り込んで一手に引き受けています。対話するのは金融や法律のスペシャリスト。膨大な量の書類をチェックし、司法書士などの専門家とも連携しながら業務を進めていきます。最初は何を話しているのかわからないかもしれない。それを放っておかずには知識として蓄積していく。一流のプロにも頼られる一流へと成長することができる。その過程で、自ら司法書士や土地家屋調査士などの難関資格をめざし、見事に取得した社員もいます。



働く環境

ワンフロア全員、EAJ社員。



クライアント先の金融機関に常駐することもあり、その場合は複数名のチームで金融機関のバックオフィスに拠点を構えて、クライアントと密な連携をとります。引き受ける業務の幅に応じて、チームメンバーは5、6名程度のときもあれば、40名を超えることもあります。バックオフィスのワンフロア全員がEAJ社員という環境もありました。だから、わからないことがあれば、遠慮なく先輩たちに聞いてください。知識ゼロからスタートしても、お互いを高め合い、支え合いながらプロフェッショナルへと成長していく環境があります。

教育研修

ゼロから学ぶ覚悟で来てほしい。

金融知識、不動産知識、取引に関する法律の知識など、学ぶべき内容はどこまでも広く、深い。スキルアップをめざして不動産業界や金融業界から転職してきた人も、最初は戸惑っていたほど。「当時は外国語を聞いているようでした」と笑う社員もいました。けれど、心配はいりません。不動産や金融用語をゼロから学ぶ新入社員研修やOJT研修を通じて、着実に知識を積み上げて行ける環境があります。好奇心と学ぶ意欲だけ持って来てください。1年で大きな成長を実感できるはずです。

